



新年のご挨拶

代表取締役常務取締役
兼常務執行役員 パイプ事業部長 七条 昭



新年明けましておめでとうございます。

2009年の新春に当たり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年、世界的規模で経済環境は縮小局面に突入しました。

こうした経済情勢の中ですが、我々のパイプ事業は、2008年度は3年連続の増収、増益を達成できる見込みであります。しかし今後は前述した経済情勢の中で予断を許さない状況です。

今年は中期計画(09中計)を作成し、今後の指標としての具体的行動計画を示します。

この中期計画(09中計)では更なる拡販・コストダウンの対策を織り込むとともに新たな事業の発展のために今までのパイプの製造、販売だけでなく、新たに“配管システムへの展開を図る”という行動計画を第一の目標とする所存です。

これは、昨年来取り組んできた“パイプの先にあるものも”を更に一步進め、お客様のご要望をそのまま形にしてお納めできる事業にしようというものです。

この計画が成功裏に進められた暁には、我々のパイプ事業は大きな質的な転換をし、エンジニアリング会社のパイプ部門として、未だ、どこのパイプメーカーも試みたことのない、新たな事業を進めることとなります。しかし、そのために必要な経験や知識は、我々のものだけでは決して十分なものではなく、お客様、仕入先、協力会社の皆様のご指導を仰ぎながらでなければ、進められるものではありません。今まで以上の厳しいご指導をお願いするしだいです。

最後になりましたが、昨年一年間、協力会社の皆様も含め、一件の軽微災害もなく無災害で過ごせました。

これは、関係者全員が一日一日を大切に作業を進めた賜物だと考えます。

今年一年間も、無災害を継続し、更なる事業の発展のために、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

昨年中は色々お世話になり、心よりお礼申し上げます。

本年も何卒よろしくお願い致します。

2009年 元旦

三井金属エンジニアリング株式会社 パイプ事業部 社員一同



岩手・宮城内陸地震にMESCO ポリエチレンパイプを寄贈

ポリエチレンパイプ製造の三井金属エンジニアリング(本社東京都)は、岩手・宮城内陸地震で被害を受けた同市巣美町の市野々原地区に供給する簡易水道の応急措置工事で使う配水管資材を寄贈した。

同地区には簡易水道が整備されておらず、住民は井戸水や沢水を引いて生活用水を確保していた。

地震後は以前のような水量を確保できないほか、今後の治山工事で濁る恐れもあるため、安定供給に向け簡易水道の導入を決めた。

資材の寄贈は被災直後から申し出があり、三井金属エンジニアリングが直径50mmの高密度ポリエチレン管を3,000m(3,330,000円相当)を寄贈する。

工事は市水道工事業協同組合が請け負い既に進められており、水源の同町祭時から楓木平地区に通じている簡易水道を2,700m延長し敷設する。

8月末に完成し、市野々原地区の全10世帯と市野々原集会所に9月から供給される予定。

同日は、三井金属エンジニアリングパイプ事業部の上田義則取締役営業部長、瀬上正雄仙台営業所長が市役所を訪問。上田部長は「一関市にはこれまでにも配水管材料を納入しており、世話をなっている。われわれの力はわずかだが、資材を復旧に役立ててもらいたい」と目録を贈呈。浅井東兵衛市長は「これまでも渇水時などには不便を来してきた。整備が完成すれば、皆さんに安全で安心できる水を利用していただける」と感謝した。



浅井市長に目録を手渡す弊社上田部長、瀬上所長

(上記記事は、8月26日付 岩手日日新聞社 提供記事の抜粋です。)

現在、工事も完了し住民の方へ通水を行っています。

第40回 管工機材・設備総合展に出展しました



10月22日(水)～24日(金)の3日間
東京都立産業貿易センター浜松町館にて第40回管工機材・設備総合展が開催されました。

当社は単層ポリエチレン管をメインに最大径1,500mm迄供給可能であることをアピールしました。



工場配管

昨年もお客様にポリエチレン管の特性を評価していただき、多くの工場に納入してまいりました。

主な特性

- ① 腐食しない
- ② 地震に強い
- ③ 軽量
- ④ 薬品に強い
- ⑤ 完全水密融着
- ⑥ 露出配管可能
- ⑦ 熱に強い (Max95°C:架橋ポリエチレン管の場合)
- ⑧ 呼び径50mm~1,500mmまで供給可能



海浜に近く埋立地のため、可とう性・耐食性が評価されました。

品種:WE-13.6 サイズ:W350

お使いいただいた用途

- 送水・給水
- 排水・汚水
- 海水取水
- 薬液
- 消火栓

情報開示の関係で個々の企業名、プロセスライン、写真等は掲載出来ませんが製鉄所、非鉄金属製錬所、酒造工場、精密機器工場、電力・ガス会社、輸送用機器など多種多様に渡ります。

トピックス

当社代理店の(有)山興企画殿が(社)発明協会主催の2008年度地方発明表彰において山口県知事賞を受賞されました。発明名称は「高所移動足場」です。

これを使用する事により橋梁添架管の作業時、安全に効率よく作業することが可能となりました。



(有)山興企画 名誉顧問 岡田興則様



お問い合わせ先

〒753-0801
山口県山口市中尾611-29
(有)山興企画
TEL:083-922-9056



海底送水管工事完工!! WNGΦ65×11,229m

蓋井島水道施設整備事業とは

「安全・安定・安心」
3A 水道

蓋井島は、昭和43年12月に蓋井島簡易水道事業を設置して給水を開始し、島内の生活様式の変化に合わせ、井戸の改修や増設を行い、島内に必要な水量を確保してきましたが、近年の湧水量減少や今後予測される水質悪化に対応するため、新たに水源を求める必要が生じました。

このような状況を根本的に解消するため、新たな水道整備の一環として、「海底送水方式」により本土から島内へ水道水を送水することを目的とした「蓋井島水道施設整備事業」に着手しました。

平成18年度に着手し、3か年をかけて平成20年度に完了したこの事業により、蓋井島住民の新たな生活基盤として、海底送水管を通して、将来にわたり、「安全・安定・安心」な水道水の供給が可能となりました。

蓋井島水道施設整備工事のあゆみ

海底送水管工事 着手 平成19年10月
完成 平成20年12月

送配水管・配水施設工事 着手 平成19年12月
(蓋井島島内)
完成 平成20年7月

電気・計装設備工事 着手 平成19年12月
完成 平成20年7月

●事業年度…平成18年度～平成20年度

●計画給水人口…110人

●1日最大給水量…53m³

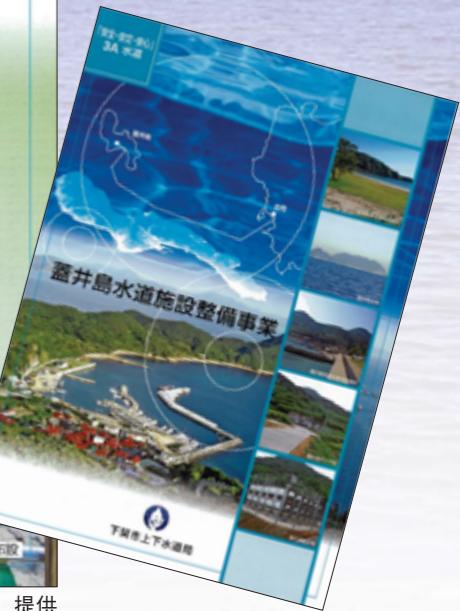
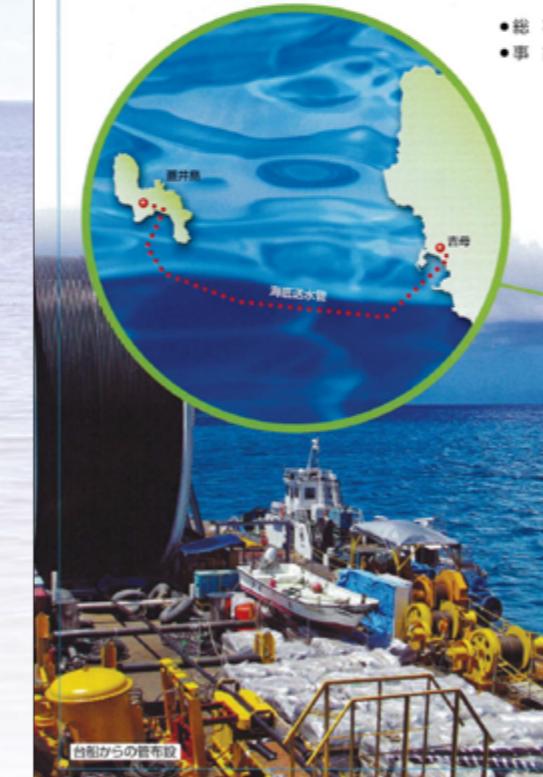
●配水池容量…45m³

●管路延長…送水管 12,098m (口径50mm～75mm)
(うち海底部11,229m)

配水管 54m (口径75mm)

●総事業費…約10億円

●事業財源…農林水産省補助事業(「漁業集落環境整備事業」)



下関市上下水道局殿 提供

山口県下関市で当社がJV参加しております「蓋井島水道施設整備事業」が完成し現地にて通水式典が行われました。

当日は下関市長殿、同市議会議長殿をはじめ関係者が多数参加され無事通水を祝いました。

この事業により蓋井島住民の方々の新たな生活基盤として、海底送水管を通して、将来にわたり「安全・安定・安心」な水道水の供給が可能になりました。



JV関係者の方々▶